



令和 7 年 2 月 21 日（金）
国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所
蓮ダム管理所

くしだ が わ 櫛田川水系渇水対策支部を設置します。

～降水量が少ないため蓮^{はちす}ダムの貯水量および河川流量が減少しています～

1. 概 要

- 三軒屋観測所（^{さんげんや}松阪市飯高町蓮^{まつさかしいいたかちょうはちす}）における令和 6 年 12 月の降水量は 10mm で平年値の 13.7%と極めて少なく、また令和 7 年 1 月の降水量も 21mm と平年値の 28.8%にとどまっています。
- 櫛田川の河川流量（^{りょうぐん}両郡観測所）は流水の正常な機能を維持するために必要な流量（正常流量）3.0m³/s を 1 月 9 日から下回り、2 月 2 日から 3 日にかけて一時回復したものの、引き続き 2 月 4 日から下回っています。
- 2 月 20 日 9 時時点の蓮ダムの貯水率は 37.5%、平年比は 61.3%となっています。
- このような状況から三重河川国道事務所と蓮ダム管理所では、**本日 10 時より渇水対策支部を設置**し、河川パトロール等により流況や河川環境の監視を強化します。また、関係者と情報交換を行い、渇水対応を実施していきます。

2. 配布先

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、松阪記者クラブ

3. 問い合わせ先

渇水全般や河川に関すること

国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所
副 所 長 ^{はら}原 ^{みきひこ}幹彦
河川占用調整課長 ^{おおはし}大橋 ^{かずお}一夫
電話 059-229-2218

蓮ダムに関すること

国土交通省中部地方整備局
蓮ダム管理所
所 長 ^{ほその}細野 ^{たかし}貴司
電話 0598-45-0371

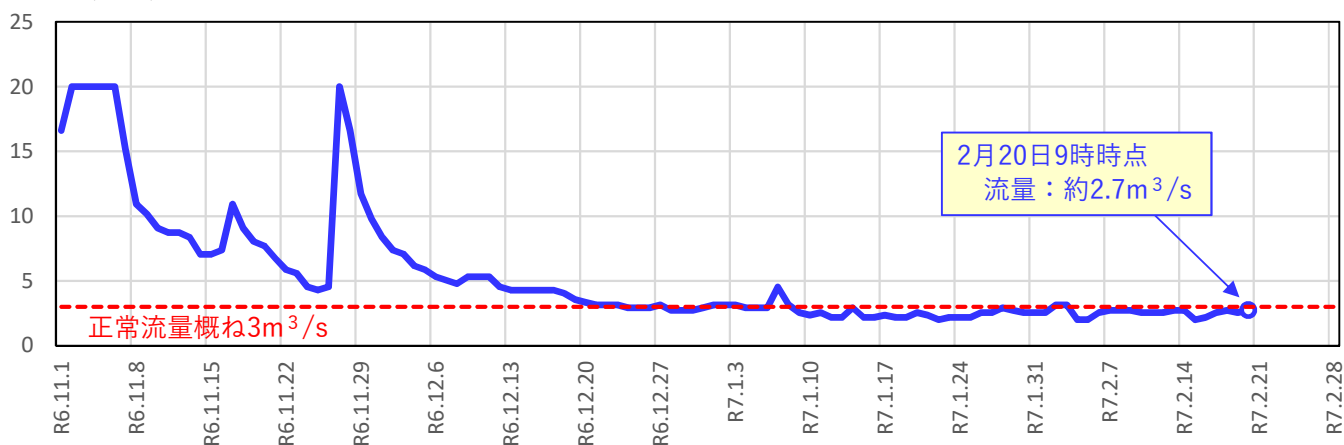
櫛田川の渇水概要（令和7年2月20日）

渇水状況

- 三軒屋観測所（松阪市飯高町蓮）における降水量は令和6年12月が10mmで平年値13.7%、令和7年1月が21mmで平年値28.8%でした。令和7年2月の降水量は、19日時点で34mmとなっています。
- 櫛田川の河川流量（両郡観測所）は流水の正常な機能を維持するために必要な流量（正常流量） $3.0\text{m}^3/\text{s}$ を1月9日から下回り、2月2日から3日にかけて一時回復したものの、引き続き2月4日から下回っています。
- 2月20日9時時点の蓮ダム貯水率は37.5%、平年比61.3%となっています。
- このまま少雨が継続すると、深刻な渇水被害が生じるおそれがあることから、渇水被害の回避、軽減を図るため、渇水対応を行っていく必要があります。

両郡観測所の流量（管理者：国土交通省 読み：りょうぐん 場所：多気郡多気町相可） **速報値**

流量（ m^3/s ）



現況写真（櫛田川第一頭首工 場所：松阪市豊原町）

令和7年2月18日撮影
（両郡観測所の流量： $2.7\text{m}^3/\text{s}$ ）



参考）令和6年5月1日撮影
（両郡観測所の流量：約 $12\text{m}^3/\text{s}$ ）



- 2月20日9時現在、蓮ダムの貯水率は37.5%、平年比61.3%となっています。
- 例年より貯水量が少ない主な要因は以下のとおりです。

主な要因① 工事に伴う貯水位の維持

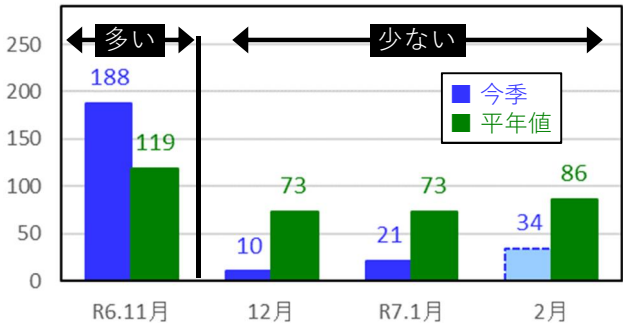
- 11月は例年に比べ降雨が多かったが、8月下旬に発生した台風第10号で被災した箇所の復旧に際し、河川を切り替える工事を実施した11/1～11/21の間は、特に低い貯水位を保つ必要があった。



主な要因② 12月以降の少雨

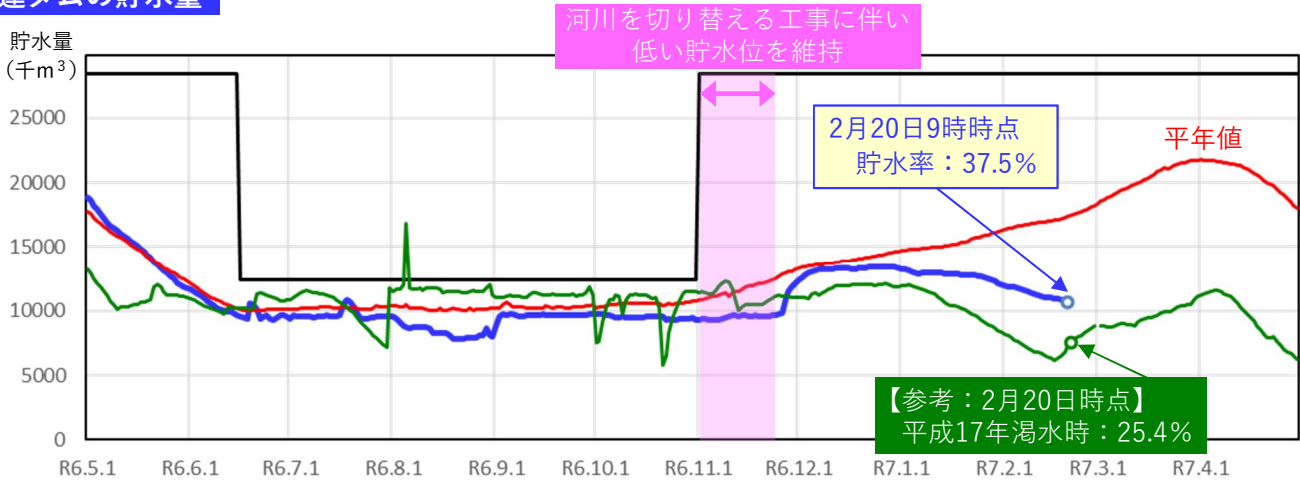
- 12月以降は例年に比べ降雨が少なかった。

蓮ダム近傍の雨量観測所の月降水量（三軒屋雨量観測所）



※令和7年2月の観測値は2月1日から2月19日までの累計値

蓮ダムの貯水量



これまでの対応状況

- 工事に伴う貯水位の維持および12月以降の少雨により、蓮ダムの貯水量が平年より大幅に少ないことから、ダム管理者と河川管理者との調整により、以下の対応を行ってきたところです。

- 蓮ダムからの補給により両郡観測所地点で確保する流量を、約3.5m³/sから概ね2.9m³/s※に緩和
- 蓮ダムにおいて流水を貯留する条件を、両郡観測所流量約5.5m³/sから概ね2.9m³/s※に緩和

※両郡観測所地点における正常流量は3.0m³/s（11/1～2/28）であるが、櫛田川水系において水を取水している利水者が、昨年同様の取水を可能にし、かつ取水後においても、魚の生息・生育も含め、川に必要な流量を維持することが可能となる流量が2.9m³/s

- この対応により、不特定容量（流水の正常な機能を維持するための容量）を温存することができ、同様に渇水傾向にあった平成17年渇水に対し、高い貯水率を維持してきた一方で、水道容量については、2月19日現在、貯水率が約27%と厳しい状況にあります。

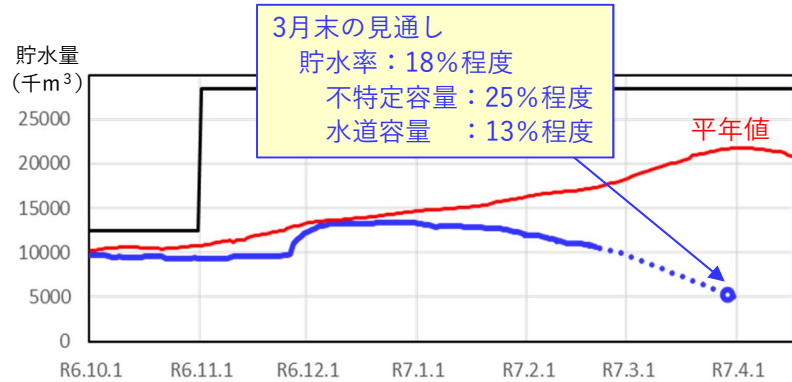
利水容量の内訳（2月19日現在）

	計画容量	現在の容量	
利水容量	2,840万m ³	1,070万m ³	37.7%
不特定容量	1,110万m ³	600万m ³	54.0%
水道容量	1,730万m ³	470万m ³	27.2%

今後の見通し

- 気象庁による向こう3か月の降雨の見通しでは、2月から4月の降水量はほぼ平年並みとされています。
- このまま少雨状況が継続すると、これまで実施してきた渇水対応を継続したとしても、3月末段階で、貯水率は18%程度まで低下し、うち不特定容量は25%、水道容量は13%程度になる見通しとなっています。
- このように3月末段階においては、水道容量については非常に厳しい状況になるものと想定され、また不特定容量においても、4月以降、農作物の生育のための取水が本格化していくため、予断を持ってない状況にあります。

蓮ダム貯水量の今後の見通し



当面の渇水対応

- このような状況の中、今後の渇水被害の回避、軽減を図るため、当面、以下の渇水対応を実施します。

不特定容量の温存

- 蓮ダムにより両郡観測所で確保する流量および蓮ダムで流水を貯留※する条件の緩和

2月末まで：概ね2.9m³/s、3月は魚類の状況を見ながら概ね3.7m³/sに増量※

※貯留する際にも蓮ダム直下の流水の正常な機能を維持するため0.5m³/sは放流

水道容量の温存

- 南勢志摩水道用水の自主節水

凡 例	
主なかんがい用水の受益地	
松阪市水道 (松阪市)	●
松阪工業用水道 (三重県企業庁)	—○—
南勢志摩水道用水 (三重県企業庁)	—●—



問い合わせ先

渇水全般や河川に関すること

国土交通省 中部地方整備局
三重河川国道事務所
河川占用調整課

Tel：059-229-2218

蓮ダムに関すること

国土交通省 中部地方整備局
蓮ダム管理所
管理係

Tel：0598-45-0371



川の防災情報